

第201号

発行日：2016年6月1日

発行人：神立秀明

〒950-2172 新潟市西区内野上新町11810番地3

TEL 代表(025)264-5000

FAX(025)261-4430

在宅ケアセンターゆうばえ内



夕映えの会

住民の声

地域でささえあう

高齢者と子ども達が

トキめく

町づくりをめざして



内野山手自治会

副会長

久保田 昌 照

内野山手自治会は240世帯、760人が暮らす自治会です。65歳以上の高齢者190人、18歳未満の子ども160人と比較的バランスのとれた自治会です。今年も12人の子どもたちが小学校に入学しました。

平成25年に高齢者見守り活動のモデル地区として手を挙げ取り組んできました。目的は「孤独死・孤立死ゼロ」をめざした近所の絆・近所の助け合いです。私たちはこの活動を「あんしん見守り隊」として立ち上げました。「さりげなくお互いに見守って、さりげなく手を差し伸べよう」をモットーに3年間実践してきました。

毎週1回、役員・班長含めて6人で小学生の帰宅時間に合わせて見回ります。この3年間で、熱中症にかかった一人暮らしの高齢者3人を発見しました。3人とも退院後自宅には戻ることができませんでした。このことで私たちの活動はいささかも揺るぎません。命を救うことができたのは、まさに近所の絆、助け合いによるものと確信しています。

新潟市は平成29年度から要支援1・2の方が介護保険から外れるためこの方々の支援を自治会などに委ねる方向で考えているようです。自治会やNPOでのボランティア組織を立ち上げる必要がありますが、私たち自身も高齢化していくわけで、新潟市は現時点での方向性を早く市民に知らせるべきと考えます。要支援者は一体どこで、誰が受け入れるのか、多くの市民が懸念しています。同時に、私は地域包括ケアシステムの実施にあたっては訪問医の充実、すなわち医療との連携が不可欠だと思います。

さて子ども目線で子どもたちが安心して過ごせる取り組みは、私たちの町づくりの両輪です。観桜会や焼肉パーティ、内野祭り、防災訓練など参加者が増えることを願っております。

私は現在72歳、民生委員を12年続

けています。この間、0歳から3歳児の親子の居場所として、子育て支援施設「虹の部屋」づくりを内野地区民生委員協議会ですすめてきました。会場は内野保健センター、月に15組30人程の参加者で賑わっています。

また要援護者の避難時の対応は民生員としての緊急課題でした。災害が起きた時、誰が誰の協力をして避難するか、組織図が私ども自治会でできたのは、東日本大震災の前日でした。早速この組織図は効果を発揮しました。自治会と民生委員が協力してできた要援護者への対応でした。

純野生のトキが佐渡で誕生したと報道されました。大のトキ大好き人間としては「見に行きたい」「写真の撮影に行きたい」「どうせ仕事はボランティアばかり…」本音のホンネです。

7年前トキが新川にやってきた4ヶ月、自治会ではあまりに多くの観客で交通整理に大わらわ。何しろ新川元橋の上だけで500人、大変でしたが楽しい思い出です。トキよ、もう一度新川に来て頂戴！ボランティアだって楽しみがあつてやれるものです！

ゆうばえの里ショートステイにお世話になつている母は、「家に帰りたいくない」とのこと。ちと複雑ですが久方ぶりの新婚生活です。(笑い)

(五十嵐二の町在住)

支えあって
まちづくり

ゆうばえの配食をご利用下さい



ゆうえい会
厨房・配食担当
小島 明日枝

私はゆうえい会の厨房・配食担当として、病院のワーカーさんや他事業所のケアマネさんからの配食依頼をお受けしています。紹介があると「お弁当チラシ」を持って、ご利用者様のお宅へ伺います。

その際、まず最初に「1食450キロカロリー塩分3グラム未満、薄味、やわらかめ野菜豊富な家庭料理なんですよ」と説明します。配達時間とお声掛けのルールも大事なことです。

Fさん(83歳)はお一人暮らし。退院後、ヘルパーをご利用されています。ケアマネさんから配食の依頼があり面談いたしました。足腰が弱って買物ができず、お食事作りも大変とのこと。以来、毎日ご利用されています。

Nさん(83歳)はお子様と同居ですが、食事時間が違い困っていたとのこと。毎日のご利用をおすすめしました。

配食ボランティア(総勢12名)協力のもと、月々土までのお届けです。配食週6回の安否確認と高齢者にやさしい手作りお弁当、どうぞご利用ください。

ご利用者

様から心温まるおハガキをいただきました。紙面で紹介し返礼とさせていただきます。

在宅ケアセンター ゆうばえ様

調理の皆様

配食ボランティアの皆様

四ヶ月近くご面倒を見ていただきお陰様で元気になりました。毎日の食事が楽しみでした。厚く御礼申しあげます。夕映えの会の更なる発展を念じております。

(N)



「健やかならび」してきます！
第29回 主人と両親に感謝の日々

渡辺 幸子 (新中浜)



父が逝って10年、母が逝って7年が過ぎました。大変だったあの頃の介護を思うと良

くやれたなあと思います。

父は88歳の時、大動脈瘤破裂で2日間にわたる大手術を行いました。3カ月くらいの入院でしたが無事退院できました。主治医が、「この方は、今までどんな食生活をされてきましたか？」と尋ねるほど頑健な父でした。その後は特養ホームにお世話になり、三週間後肺炎をおこしあつという間に旅立ちました。

私は3歳の時に結核を患った実父と死別、母は私を連れて再婚しました。父は土建業を経営し、私もマイクロボスの運転など、一時は家業を手伝うこともありました。

でも父は実家とは折り合いが悪く、葬儀の喪主が誰になるのか、ひと悶着がありました。他に兄妹もなく話し合いが暗礁にのりかけた時、「オレで良ければやるよ」と主人が喪主を引き受けてくれたのです。本当にありがたかったです。

父が亡くなった後、母を引き取ることにになりました。時には兄妹

のような会話をするほど大好きな母と暮らす日々はとても楽しく嬉しかったものです。

しかし母は透析患者。急に体温低下や血圧低下がおき、私にはとても対処ができず、ゆうばえの訪問看護師さんに来てもらったりしていました。

そんなある日、新聞を取りに行った玄関先で母は転倒、大腿骨を骨折してしまいました。寝たきりでも透析は中断できない。主人は帰宅すると、決まって母の手を取り笑顔で「今日はどうだったね？」と話し掛けてくれました。ゆうばえのヘルパーさんにも助けていただき、私たちはギリギリまで母の介護をできました。母は5年間、わが家で暮らしました。父の時も、母の時もいつも私を助けてくれたのは主人でした。お墓も仏壇も主人の協力で用意できましたし一生分の借りをしました。

私は現在70歳。卓球や麻雀、俳句と川柳教室など、元気に楽しく過ごしています。両親と主人に感謝して一句。

遠い空 父が吹かせる 千の風
七回忌 母は今頃 どのあたり

施設から発信コーナー

新事務局長

就任あいさつ



社会福法人ゆうえい会
本部事務局長
高橋 実
(6月1日就任)

介護保険制度からの軽度者外しは要支援者にとどまらず、要介護者1・2まで及ぶことが取り沙汰されています。保険料を納めた人には平等に給付を行うのが保険制度の大前提のほずです。介護保険制度そのものが存立基盤を失いかねない事態だと思えます。

一方で介護報酬の度重なる改定は、介護事業所の経営を圧迫しています。ゆうえい会は今、職員が一丸となって困難を打開しようとする取り組みを開始しました。利用者の皆さまと職員の声に耳を傾け、全力を尽くしたいと思えます。よろしくお願ひいたします。

実習生 受け入れました!



訪問看護ステーション
ゆうばえ
高橋直美管理者

訪問看護ステーション・ゆうばえでは毎年3校から4校の看護学校から実習生を受け入れています。彼女たちは病院で働くことになると思いますが、在宅で療養を続ける患者さんたちの様子をぜひ見てもらいたいと考えています。

団塊の世代が後期高齢者になる2025年には、訪問看護師は15万人必要と云われています。現在の3倍から4倍の看護師が必要と云われています。若い皆さんにはやりがいある訪問看護もぜひ、将来の選択肢に入れてほしいと思います。

今後も私たちの訪問看護に実習生を同行させていただきまので、よろしくお願ひします。



新潟医療福祉大学
看護学科4年
笠原美寿々さん

「ゆうばえ」で働くスタッフの方が利用者様に接している様子を見て、一つひとつが丁寧で、利用者様とスタッフの方との距離がとても近いことが印象的でした。高齢化の現状から、「ゆうばえ」が地域に求められるものは大きいと思います。将来、微力ながらも私も看護師として貢献していきたいと思えます。実習させていただき本当にありがとうございました。



新潟医療福祉大学
看護学科4年
川原 麻佳さん

「ゆうばえ」の利用者様は、ご自身の健康を気になされながらも楽しく穏やかに過ごされておられ、エネルギーを感じました。また、ゆうばえの利用者様やスタッフの方々は地域の方々とかかわりが深く、温かみのある地域だと感じました。私は看護師の卵として勉学に励みますので、皆さまもお元気で過ごしてください。

芦岡さんの

ご飯ですよ!

ゆうばえの里 管理栄養士
芦岡 実可子

「アスパラの落とし卵焼き」
半熟状の黄身をくずし、アスパラにか
らめていただきます。

〈材料〉(2人分)

- ・グリーンアスパラガス 6本
- ・ベーコン 1枚
- ・卵 2個
- ・バター 少量
- ・粉チーズ 大きじ1
- ・塩 0.6g

〈作り方〉

- ① アスパラガスは根元を切り除いて下1/3の皮をピーラーでむき、5cm長さ
に切る。ベーコンは1cm幅に切る。
- ② 耐熱皿2枚にバターを塗り、①を入
れて中央をくぼませ、卵を割り入れ
る。
- ③ 粉チーズをふってオーブントース
ターで10分ほど焼き、とり出して塩
を振る。



2016 6 ミニイベントの お知らせ

■ 8日(水) 紙芝居

朗読「四季」の皆様

■ 10日(金) お抹茶を頂く会

矢崎房子様他

■ 13日(月) マジックショー

佐々木 邦次様

■ 15日(水) 新舞踊・民謡

「秋葉すみれ会」の皆様

■ 21日(火) レクダンス

「和の会」の皆様

ところ

ケアセンター「ゆうばえ」
デイサービスセンター

とき

午後2時30分より

*お抹茶を頂く会は
午後3時15分より

6月24日(金)

「夏が来るから元気になる」

〜自分でできるマッサージュ
+歌+茶話会〜

とき

午後2時より

ところ

小規模多機能
ゆうばえの家

地域の皆さんのご来所をお待ちしています。
ご一緒に楽しみましょう。

職員募集

- ・介護職員
(勤務時間は相談可。)
- ・看護師(日中のみ)
- ・主任介護支援専門員
お気軽にご一報ください。

(お問い合わせ)

TEL 264-5000
吉田まで



- ・パート調理員募集
ゆうばえの里で提供する
朝食の調理員急募。
勤務時間 5:30~9:00
時給 820円
お気軽にお問い合わせください。

(お問い合わせ)

TEL 264-5000
担当 小島



施設見学随時受付

「ケアセンターゆうばえ」「ゆうばえの里」「ゆうばえの家」の各施設では施設見学を随時受付中です。

介護保険の適用を受けている方、ご家族の介護をされている方などで「デイサービスってどんな所?」「ショートステイとは?」など施設に興味がありましたら下記連絡先までご連絡の上、見学にお越し下さい。 職員一同お待ちしております!

NPO夕映えの会の 生活支援活動配食サービス

をご利用下さい!!

□生活支援活動

- ・どんなお手伝いでも1時間1,000円です。
- ・車を使ってのお手伝いのご相談もお受けいたします。
- *介護保険は適用されません。

詳しくは090-1431-7996
(小川)まで

□配食サービス

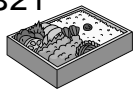
高齢者や障害をお持ちの方で
・食材の買い物等が困難な方
・食事作りが困難な方
・けが・病気等で一時的に食事作りが出来ない方
など、1食600円でボランティアによる配達と安否確認を行っております。

詳しくは090-1654-9821
(久住)まで

連絡先一覧

夕映えの会
お弁当配食については
★配食事業部へ
090-1654-9821

生活支援については
★生活支援部へ
090-1431-7996
お気軽にご連絡ください。



生活支援、配食、運転
ボランティア募集

社会福祉法人ゆうえい会
在宅ケアセンターゆうばえ
(代)025-264-5000

ゆうばえの里
ケアハウス 025-264-5715
ショートステイ 025-264-5730
ゆうばえの家 025-264-0808

★介護のご相談はケアプランへ
025-264-5701

編集後記

友が60歳の若さで逝きました。大腸がんによる多臓器不全でした。がんが発見されたのは1年半前のこと。でも既にステージ4。放射線治療、抗がん剤治療など手を尽くしましたが、薬石効なく旅立ちました。頭脳明晰で感性豊か、惜しむらくは、もう少し自身の健康を気遣うことがあったら...と思います。医療や介護で働く職員は人の傷みを知り、痛みに共感できる資質が必要です。でもその大前提は自身が健やかに生活を送るための健康管理ではないでしょうか。1年半に及ぶがんとのたたかい、「もう頑張らなくてもいいよ」と、そっと呼びかけました。(M記)